

令和元年6月13日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	<p>JAしまね出雲ぶどう部会が出荷総会を開催！！</p> <p>～目標達成に向けて取り組みを確認～</p>
-----	---

(ダイジェスト)

JAしまね出雲ぶどう部会は、5月8日、2019年産ぶどう出荷総会を開催し、「やればできるぞ反収1,300kg」、「一致団結 税別単価1,300円/kg」、「みんなで目指そう 赤秀比率90%」、「1,300円/kgで買ってもらえるぶどうを！」の4つの目標を掲げ、生産者・市場・関係機関が一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

JAしまね出雲ぶどう部会は、5月8日、本年産のぶどう出荷総会を開催し、部会員、関係者が出席しました。

今年度は、税別単価1,300円/kgをはじめとする、4つの目標を掲げ、取り組んでいくこととなりました。

部長は「本年産のぶどう出荷は4月19日の初出荷以降順調に推移しているが、今後の気象条件によっては予断を許さず、今後も選果・選別の徹底、共販出荷により、目標を達成しよう。」と部会員に呼びかけました。

また、部会で取り組んでいる、ぶどう産地活性化プランの進捗状況について以下のとおり各分科会の責任者（生産者）から報告がありました。

- ① 作型毎の作業時間の記録と作型モデルの作成状況
- ② 5月出荷（早期出荷）の安定化と出雲ぶどう認知度向上対策の実施状況
- ③ 新規就農者確保のためのチラシの配布やイベントの開催状況
- ④ 青年部で行っているビニール張り等の作業班の拡大、効率化
- ⑤ 部会員が依頼したい作業の調査と求職者による作業支援の試行

さらに、青年部長から美味しまねゴールド認証（GAP）の取得に向けての検討と、技術部長からスマートフォンを利用したハウス内温度リアルタイム感知システムの導入（Iot 技術等の導入）についての報告もありました。

普及部としては、今後も、関係機関と連携しながら、部会の目標の達成やぶどう産地の活性化に向けた支援を継続していくこととしています。



活性化プラン進捗状況の報告



女性部長による産地決意表明